

# 愛媛県港湾整備事業経営戦略

団 体 名 : 愛媛県

事 業 名 : 港湾整備事業

策 定 日 : 平成 30 年 3 月 (令和5年6月修正)

計 画 期 間 : 平成 30 年度 ~ 令和 15 年度

## 1. 事業概要

\* 複数の港湾を有する事業にあつては、港湾ごとの状況が分かるよう記載すること。

2段書き 上段:松山港、下段:宇和島

### (1) 事業形態等

法適(全部適用・一部適用) 非適の区分	非適	事業開始年度	昭和39年
職 員 数	3人	港 湾 区 分 ( 重 要 港 湾 等 )	重要港湾
年間取扱貨物量 ※過去3年度分を記載	H26 9,362,646トン 2,196,586トン	H27 9,011,705トン 4,452,541トン	H28 9,140,379トン 271,942トン
年間船舶乗降旅客数 ※過去3年度分を記載	H26 1,203,817人 195,309人	H27 1,207,164人 198,204人	H28 1,199,418人 77,533人
年間使用料収入額 ( 税 込 み ) ※過去3年度分を記載	H26 42,833,352円 11,660,905円	H27 44,738,221円 11,700,269円	H28 42,255,340円 11,669,122円
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	H26 % %	H27 % %	H28 % %
経費回収率* ※過去3年度分を記載	H26 % %	H27 % %	H28 % %
民間活用の状況	ア 民間委託	なし	
	イ 指定管理者制度	なし	
	ウ PPP・PFI	なし	

\* 法適  $\left( \frac{\text{主営業収益} + \text{その他営業収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100 \right)$  非適  $\left( \frac{\text{料金収入} + \text{その他営業収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用} + \text{地方債償還金}} \times 100 \right)$

### (2) 使用料形態

\* 施設区分の中で複数の使用料形態がある場合には、それぞれの内容を分けて記載すること。

施設区分	使用料区分	現行(a)	前回(b)	改定率	前々回(c)	改定率
		(H28年改正)	(H26年改正)	(a/b)%	(H9年改正)	(b/c)%
ふ 頭 用 地	舗 装	3.8	3.7	102.7%	3.6	102.8%
	未 舗 装	2.9	2.8	103.6%	2.7	103.7%
上 屋	鉄骨貨物上屋	6.2	6.0	103.3%	5.9	101.7%
	鉄筋コンクリート貨物上屋	9.2	8.9	103.4%	8.7	102.3%
	上屋、倉庫その他の工作物の設置	563.6	542.2	103.9%	527.2	102.8%
電 柱		173	167	103.6%	167	100.0%
管		54	52	103.8%	52	100.0%
松山港今出水面貯木場		16.5	15.9	103.8%	15.5	102.6%
そ の 他						

\* 各項目の単位を明記すること

## 2. 経営の基本方針

起債により整備した港湾施設の維持管理及び起債の償還を行い、この財源は、土地売却売払代金及び占使用料に求める。港湾施設を適切に維持管理し、事業効果が十分達成されるようにする。

## 3. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

\* 複数の港湾を有する事業にあつては、港湾ごとの内訳も作成すること。

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たつての説明

\* 複数の港湾を有する事業にあつては、港湾ごとの考え方がわかるよう記載すること。

① 収支計画のうち投資についての説明

累積の収支では、平成4年度から黒字であり、新たな上屋等の建設予定はなく、既存上屋等を適切に維持管理し、現状の収入を確保する。

② 収支計画のうち財源についての説明

既存占使用料を余剰資産の全額を翌年度に繰越する。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

維持管理に必要な経費を支出する。

### (3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

\*1 (1)において黒字の場合においても、投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

\*2 複数の港湾を有する事業にあっては、港湾ごとの考え方・検討状況がわかるよう記載すること。

#### ① 今後の投資についての考え方・検討状況

投資の平準化に関する事項	既存施設を適切に維持管理する。当面、大規模修繕の予定はない。
施設等の統合・縮小・廃止に関する事項	予定なし
防災・安全対策に関する事項	消防設備点検、警備を委託して実施する。 港湾ごとに開催される防災訓練に参加する。
民間の活力の活用に関する事項 (PPP・PFI など)	予定なし
その他	地域開発事業への支出(公共用地整備事業特別会計への返還)が必要である

#### ② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料形態に関する事項	愛媛県港湾管理条例の規定を適用する。
取扱貨物量に関する事項	港湾利用促進協議会に参加し、港湾利用の促進を図る。
船舶乗降旅客数に関する事項	該当なし
繰入金に関する事項	該当なし
資産の有効活用に関する事項	港湾施設を適切に管理する。
その他	特になし

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間の活力の活用に関する事項 (指定管理者制度、PPP・PFI など)	平成4年から黒字であり、当面は必要ない。
職員給与費に関する事項	県職員が許可事務、徴収事務を行っている。人件費の支出はない。
委託費に関する事項	愛媛県会計規則に基づき、適正な委託料となるよう契約手続きをする。
その他	特になし

4. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、 更新等に関する事項	港湾整備事業収入より地域開発事業への支出(公共用地整備事業特別会計への返還)を検討する。
-------------------------	--





投資・財政計画  
(収支計画)

(単位:千円, %)

Table with columns for years (10年度 to 15年度) and locations (松山港, 宇和島港). Rows include categories like 収益的収入, 資本的収入, 収益的支出, 資本的支出, and 収支再差引. Includes sub-rows for detailed items like 総収益, 総費用, and 借入金残高. Includes a summary table at the bottom for '他会計繰入金'.